

あさがお

広報紙『あさがお』第6号 平成31年4月1日発行
 社会福祉法人 名張厚生協会 名張養護学園
 〒518-0721 三重県名張市朝日町 1263-3
 Tel.0595-63-0717 Fax0595-63-0721

「激励会」

この春、高校を卒業し自立していく児童を励ます会がありました。



4名の児童が高等学校を卒業し、各々が目指す道を進んでいきます。学園で過ごした期間はそれぞれ違いますが、一緒に笑ったあの日、怒って口を聞かなかったあの時と、色々な思い出が……。

教師や看護師、公務員、システムエンジニアになることを目指し、大学や専門学校と上級学校に進学し卒園する4名を在園児童と職員にて門出を祝いました。

いつまでも応援してますよ！



巻頭言

施設長

山口 伴尚



現在の入所児童数

本園 20名

／定員 30名

地域小規模「若葉」

5名

／定員 6名

新年度がスタートしました。来月には新天皇が即位されることから、平成から令和へ、時代が移り変わることとなります。

本年度は、①養育の質の向上②自立支援の充実③在宅支援の充実などを重点取組として、児童が希望に燃え、生き生きと暮らし、成長していけるよう、様々な事業を展開することにしています。いうまでもありませんが、私たちの事業の目的は「一人」にあります。一人ひとりの思い、希望や不安を共有し、どこまでも一人の児童に焦点を当て続けるという原点を忘れてはならないと、新しいスタートラインに立って、心を新たにしています。そして同時に、社会的養護を取りまく環境の大きな変化に的確に対応するため、様々な課題に果敢に挑戦していきたいと考えています。

さて、学園に隣接する旧園舎の庭には、桜の大木があります。開花からあつという間に五分咲。間もなく万朶の桜が見事に咲き誇ることでしょう。みずみずしく命が躍動する、美しい日本の春。

桜の下で、子ども達の笑顔が輝いています。

ユニット便り

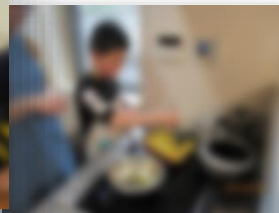
『お弁当作り』

あおぞらユニット
3月3日(日)

お昼ごはんの弁当を作るぞ！



みなんでお弁当を作ろう！一年かけ色々な調理体験をしてきた集大成として男児7名で本格弁当づくり。もちろん職員のサポートはありますが(笑)。メインのおかずは一口カツ！そのほか卵焼きにウイナーと定番に加え、ほうれん草の和え物まで結構本気の弁当を2時間かけてこしらえました。ピチピチ跳ねる油に怯えながらカツを揚げ、薄く延ばした卵を悪戦苦闘しながらクルクル丸め、しょう油加減を気にしながら和え物を作りました。出来上がった品々を自分の弁当箱に隙間なく詰めて出来上がり！写真にはないですが、自分の手の大きさに応じたサイズのおにぎりも自分たちで握りました。満面の笑みを浮かべ、普段は食べにくそうにするお野菜も完食していました。来年はフレンチに挑戦かな(#^#)



恒例行事

『ウィンタースポーツ』

『スキー・スノボ体験』

2月10日(日)

今年も行きました！
ヨゴコーゲンリゾート・ヤップ



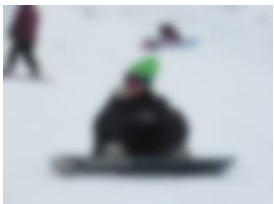
昨年初めて実施したウィンタースポーツ体験。好評につき今年も高学年の希望者を募り、滋賀県は余呉高原へ！早朝出発の日帰りスキー・スノボ体験ツアーを敢行しました。



スキー初体験の児童はスクールに入校し、午前中はみっちりインストラクターの指導を受けました。各々上達のスピードに違いはあれど、ゲレンデを滑る感覚は十分体得できたようです。



当日は三連休中なこともあり、スキーヤーにボーダーと人が多く、リフトに乗るにも何をすることも待ち時間があつたことが楽しさを半減させたようです。



スキー・スノボで体を動かした心地よい疲れに加え、待ち疲れに移動疲れが加わり、帰園時はどの児童もぐったりしていたのは気のせいでしょうか(笑)

近くにゲレンデがあればな～……(;▽;)

ほっとニュース

『チョコづくり』

にじ・どリーむユニット
2月11日（月）
最近はやチョコって言うんですか？

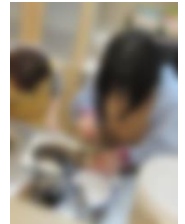


一昔前？いつのことと言われてしまいそうですが、女の子が好きな男の子にチョコを渡して告白するのがバレンタインじゃなかった!?(°Д°)

最近では友チョコって言葉で、女の子同士が友達にチョコを渡すのが主流のようです。

どんなチョコを作るか事前に決め、予算内で材料を購入するところからチョコ作りをスタート！高学年女児が低学年児に作り方を教えたりと引っ張ってくれ順調に作業が進んでいきましたが、途中材料が足りないというハプニング発生！不足に気付いた職員がこっそり購入してあり事なきを得ました。カップにうまく落としトッピング、ラッピングも丁寧に出来上がりました。

その日はみんなで仲良くいただいている姿を羨ましそうに眺めていましたが、数日後の14日には男子職員みんなが義理チョコとしていただきました。ありがとう！その優しい気持ちにチョコの甘さが加わり嬉しさを倍増してくれました。



地域交流

『里親説明会 in 伊賀の巻』

2月13日（水）
伊賀市ゆめほりすセンター



三重県里親啓発公認キャラクター
みえさとちゃん



三重県児童相談センターが主催する里親説明が伊賀市で行われ、当園の里親支援専門相談員が伊賀地域で現在活躍する里親さんにインタビューする形で里親体験発表のお手伝いをさせていただきました。

日頃から里親家庭をサポートする里親支援専門相談員ならではのインタビューであり、息もばっちり！当日参加された方々はみな一応に、二人の掛け合う一言一言に感心しきりでした。

里親説明会でしたが、昨年4月に地域小規模児童養護施設「若葉」が伊賀市に移転させていただいたこともあり、当園での養育内容を説明する時間を頂き、小規模化が進む施設での養育内容も伝えさせていただきました。

地域の身近な 相談窓口

児童家庭支援センター

「あかり」

でんわ (0595)
42-8331

子育てのこと、
家庭のこと・・・
一人で悩まないで
一緒に考えて
いきませんか

たくさんのご支援・ご寄附・ご寄贈

ありがとうございました♪

《個人》

山森理宏 匿名 大橋理子 稲葉紀美子 松村
山中克敏

《団体》

キング観光 フードビジネス経営研究所 新大佛寺
蔵持若緑会 松阪主婦の友の会 公益財団法人 SHG 財団
平成観光 KEIZ アピタ伊賀上野店 日栄化工株式会社
日本缶詰ビン詰レトルト食品協会

※平成 31 年 1 月 1 日～3 月 31 日

順不同・敬称は省略させていただいております。

= 法人の理念 =

社会福祉法人 名張厚生協会は「人としての尊厳」を尊重し、事業を利用する方々が、社会的・経済的・精神的に「自立した生活をおくること」、社会の一員として「より人間らしく豊かに生きること」、そして「生きがいをもって生きること」ができるよう、法人が築き上げてきた知識、技術、倫理、社会性を発揮し支援します。また、安心して適切な福祉サービスの提供と効率的な経営を行い、地域福祉の向上に貢献します。

= 名張養護学園の理念 =

「すべての人を尊重し、
児童の最善の利益を守り、
より積極的に支える」

= 基本目標 =

未来に羽ばたく夢と力を育む
笑顔あふれる暮らし



編集後記

春の訪れを毎日に感じさせてくれる毎日ですが、わかりやすいのが子どもたちの様子。内に籠りがちだった子どもたちが一気に外で過ごす時間が増えました。お陰様で嬉しいかな、「なー野球一緒にしよ、いつ遊べる」と誘ってくれることが急増しています。